

さぼ通

さばえNPOサポート通信

Vol.20 & 21 合併号

発行日 ■ 2014年3月31日

発行 ■ (特活)さばえNPOサポート

編集 ■ 広報特別委員会

サボ通は、(特)さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

思いを形に。 思いを現実に。

~私たち広報委員会の思い~



最近、ふと思うことがあります。

この世の中にあふれている多くのものが、誰かの思いが形になったものなんだなと。それは、私たちが日ごろ使っているものであったり、私たちの仕事そのものや、いろんな組織、団体であったり、社会の仕組みやルールだったり、こういった文章もそうです。

誰かが「こんなものがあつたらいいな」とか「こういうふうにしたら、みんなの暮らしをもっと良くできる」という思いが形になったり、現実になったりしているのだな、そんなことを感じます。

そこで、自分を振り返ってみると、「自分は、今までいつたい何を作り出したんだろう?」とか「自分は、どんな思いを持って生きてきたのだろう?」などと考えさせられてしまいます。そう思うと、自分の人生も自分の思いで紡いでいくものなのだと言えるのかもしれません。

市民活動も、まさに人の思いの結集です。誰かに強制されたものではありませんから、より強い思いがこめられているのではないかでしょうか。

『OSANPO』など広報の事業で、色々な団体さんやそこで活動されているみなさんを取材させていただく機会が多くあります。『OSANPO』は、単なる団体やイベント紹介ではなく、そこで活動されているみなさんのがどんな思いを持っておられるのか、というところをフォーカスしていくと作られた冊子です。ですから取材の際も、そこが中心になるわけですが、みなさんそれぞれに語りつくせないくらいの思いをお持ちで、時間を忘れてしまうこともしばしばあり

ましたし、それを伝えるために誌面にするのも本当に難しい作業です。「これでいいのだろうか?」「ちゃんと伝えられるのだろうか?」そう思うことの連続です。

それくらい、みなさんが強くて熱い思いを持って、日々、活動されているのです。

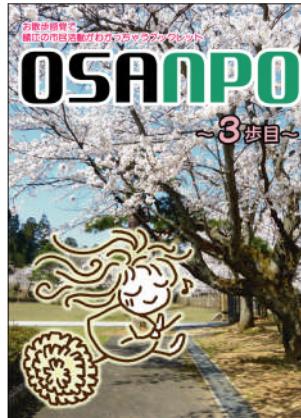
みなさんは、どんな“思い”を持って、日ごろの活動をされていますか?

平成26年度は、みんなの“思い”をひとつにして、大きく形にしていく事業がたくさんあります。

みんなの思いを結集し、大きく美しく形にしていく、現実にしていく、また、誰かの思いを形にするお手伝いをしていく、それがさばえNPOサポートの大変な役目なのではないか、そんなことを強く実感しています。

市民活動情報誌『OSANPO』もまた、市民活動をされているみなさんの思いをひとりでも多くの方に伝えたい、知つてもらいたいという、私たちさばえNPOサポート広報委員会の“思い”を形にしたものです。

まだの方は、ぜひ手にとってご覧ください。ご覧になった方は、ぜひ、まわりの方にも見ていただいてください。



鯖江の市民活動情報ブックレット

OSANPO ~3歩目~

大好評配布中!! (無料)

■ A4版・24頁・総天然色

■ ご希望の方は「さばえNPOセンター」まで

■ PDF版も公式サイトで公開中!!

■企業とNPOがタッグを組んだ
希少生物保護のための
協働プログラム

SAVE JAPAN プロジェクト2014始動!!

第1回目は
6/15(日)
9:30~12:10



里山
さんまい

今年は河和田で

■SAVE JAPAN プロジェクトとは

2012年は、越前市の“アベサンショウウオ”“ハッチョウトンボ”“コウノトリ”などを保護するための活動を展開。

2013年は、同じく越前市の“トミヨ”と“バイカモ”を育む湧水を守る事業を行ってきた「SAVE JAPANプロジェクト」は、東京の認定NPO法人、日本NPOセンターが、(株)損害保険ジャパン、日本興亜損害保険(株)とタッグを組んで、全国47都道府県の希少動物保護を推進する、民間での協働プログラムです。

福井県では、さばえNPOサポートが、コーディネーターとして保護活動に関わる市民活動団体さんの支援を行い、県内各地から毎年たくさんの皆さんに参加していただいている。

■今年は鯖江で「かわだ里山たんけん王国」

2014年の事業では、満を持して地元河和田を舞台に3回シリーズで里山を満喫!

主役は、“鯖江市の鳥”でもあり、福井県のレッドデータブックにも記載されている“オシドリ”です。

主体となって事業を進めてくれるのは、創立から23年

目を迎えた「河和田自然に親しむ会」さん。NHKの番組製作などにも協力している、河和田の自然と里山の保全活動を続ける老舗の団体さんです。

■里山から見える地域の未来

オシドリ、アオバズク、アカショウビン…野鳥観察のファンならずとも、その美しさと魅力に誰もが目を見張る生き物たち。河和田には、そんな鳥たちだけでなく、珍しい虫や植物も含め、素晴らしい里山が残されています。

里山は、自然と人間が関わり合う、理想的なバランスで成り立つ“共生の楽園”。

そこで体感できることは、子ども達の人生へのかけがえのない贈り物にもなるはずです。

全3回とも参加は無料。興味のある方は、ぜひ、さばえNPOサポートまでお問い合わせください。

<2014年の開催予定>

【第1回】6/15(日)…「オシドリを探そう!!」

【第2回】8/24(日)…「巣箱作り」

【第3回】11/9(日)…「野鳥観察と巣箱掛け」

『2色ドラム輪転機』はじめました!!

- 版代2枚分(80円)で、2色刷りチラシを簡単印刷!!(印刷代は2円/枚)
- 黒1色、赤1色の印刷(版代各40円)も、もちろんOK!!(印刷代は2円/枚)
- 使い方、原稿の作り方は、NPOセンター事務所までお気軽に☆

※紙代は別となります。

※この『サポ通』も、実際に輪転機で作成しました。



悪いヤツは 喰つちまうぞ!

アナコンダはるみ

『はるみママ』『マドモアゼルはるみ』と、歴代“はるみシリーズ”読者のみなさま、こんにちは!

今回は、またタイトルを一新! アナコンダはるみが、世の悪モノをひと呑みにしてやるっ!…ってコーナーです!

…っていうのも…なんだか最近、社会のコト、人間関係のコト、あれこれ「納得いかない!」「許せない!」ってこと多くありません?

誰か特定の人に腹を立ててるってこともあるけど、それより、いつも静かに怒りを感じていて、その怒りのエネルギーが、四六時中自分の中に溜まり続けているような…そんな感覚に襲われたりしませんか?

うん! 絶対どこかで、とてつもない“悪”が自分たちを苛んでいるに違いない!!

でもちょっと待って。

だいたい、“悪”ってなんだろう?

「犯罪」みたいな社会的な“悪”はわかりやすいけど、それだって、見方によっては“ルール違反”ではあるけど“悪”とは言い切れないコトだってあるんじゃないかしら?

そんな風に思い始めて、少し哲学的な迷路に入り込み始めた感じのアナコンダは、とりあえず、私にとっての“悪”について考えることにしてみました。

“悪”と聞いて本能的に嫌悪感を持つ人もいれば、一種、背徳的な魅力を感じる人もいるでしょう。

もともと“悪”って、とても相対的な視点で語られる事が多い言葉だし、誰もが納得できる基準はないのかもしれません。

でも、そんな中で、自分なりに「これはかなり根源に近いところの“悪”じゃないかしら」と思えることにたどり着きました。

それは、“自分の心を偽ること”。

私の場合、そんな“悪”的誘惑は、毎日のコミュニケーションの中に潜んでいます。

日々、自分の意見を表現することの大切さを感じる一方で、他人との衝突を避けたい気持ちも強く、「自分の意見は相手に否定されそう」とか、「こんなこと言ったら相手の気持ちを害するかも…」という雰囲気に呑まれ、相手の意見に合わせてしまったり、素直な本心を飲み込んでしまったりする自分。

その場の空気を読むことも大切ですが、上辺をとりつこうだけの同調を続けると、本当の信頼関係は築けないし、虚しさと孤独を感じます。

極端な話かもしれませんのが、こういう関係性は、主体性のない集団いじめなどの“社会悪”にも繋がっているのではないかしら。

結局、そんな状況に陥らないためには、本音を伝え合える人間関係が重要なんですね。信頼関係を築けるようなコミュニケーションの中で、相手との“親密性”を得ながらも、“適切な距離感”を守ることができたらいいなと思います。

ちなみに、さばえNPOサポートには、老若男女を問わず、いろいろな価値観を持つ方々がいます。建設的な議論や会話力に触れる機会にあふれています。

私はあまり難しい話や議論が得意ではありませんが、人の輪の中に入していくことで学ぶことは本当に多くて、同じ場を共有することもコミュニケーションの一つなんだなあと感じます。

そして、人の輪の中に入ることで、“相手の立場をおもんばかりながら話を聞くことの大切さ”に気づきました。

時には話すことよりも、どれだけ相手の話を聴き、どれだけ受け取ることができたかの方が、コミュニケーションにおいて大切なかもしれない。…そんなことを思うのも、このセンターに集まってる“聴き上手”な皆さんのお陰だと思います。

(全員がそうだとは言いませんが)ここでは、相手を攻撃したり否定することなく、お互いの意見や主張を尊重し、良い部分を引出し、伸ばし合うことができます。そしてそのような良い関係性の中でこそ、包容力のあるリーダー的人材が育っていけるのではないかと感じています。

私も、ここで自分と相手の距離感と価値観を尊重するコミュニケーションを磨きながら、自分なりに地域の役に立つ方法を模索しながら成長していきたいと思います!

…と思いながらも実のところ、凶暴なアナコンダのように、仲間相手にくだをまいて楽しんでいるだけなのですが。でも、楽しければそれもまた良し☆(フハハ!)。

もし、あなたのお近くで「シャーッ」と、くだをまくアナコンダを見かけたら、どうか大きな愛を持って温かく接してください。(笑)

“自分の心を偽ること”的のない場所では、アナコンダは満足の笑みを浮かべて、千鳥足で、すがすがしく消え去って行くのです。(あ。ヘビが“千鳥足”はムリカ。)

ということで、始まりは悪人成敗の話だったハズなのに、最後はなぜかコミュニケーション論で幕を閉じる自由奔放さ! 寛大な読者の皆様に感謝×2でございます。

m(_)_m

では、シメは感謝の気持ちをこめて、この決め台詞で!

『悪いヤツは喰つちまうぞ!』

さばえ忍す

Saponins
THE COMIC

by 一由ココロ
ichiyu Kokoro



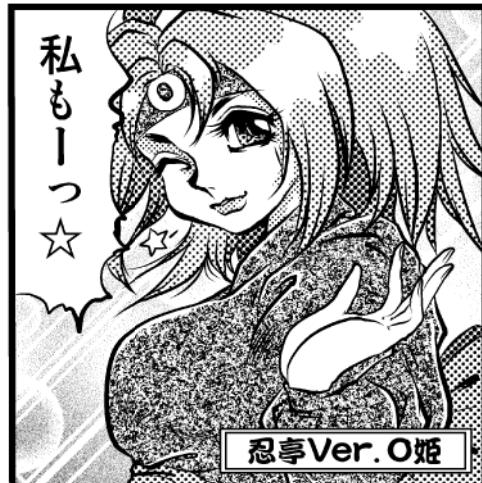
第12回

▼左上のコマからスタート!(タテに読み進めていきましょう☆)

支援と期待



にんてー



さばえNPOサポートは“仮認定NPO”を取得予定です!

「認定NPO法人」とは、NPO法人の中で、“より高い公共性を持つこと”を所轄庁(都道府県等)から認められた団体のこと。その法人への寄付等についても、寄付者側に様々な税制優遇措置があります。

さばえNPOサポートは、H26年度の早い時期に、その「認定」へのステップとなる「仮認定」NPO法人としてスタートを切る予定となっています。

今後とも、皆さま方のご支援を心よりお願い申し上げます。

広報サポート募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃っています☆ 詳しくは、(特)さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

特定非営利活動法人 さばえNPOサポート

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1丁目-9-20 鯖江市民活動交流センター内

TEL:0778-54-7055 FAX:0778-54-7058

[Eメール] info@sabae-npo.org

[ホームページ] http://www.sabae-npo.org